

### 02 柿ノ木谷川

**課題** 水質汚濁が顕著（畜産廃水が流入）。



### 03 大日川水系中下流部

**保全** 平地の中小河川としては、堰湛水域が比較的少ない。多様な生物が生息する。

**課題** 平瀬が長く続き、淵は井堰の直下に限られる。瀬・淵の変化に乏しく、河川形態が単調。一部区間では、横断工作物が高い密度で分布する（牛内川中下流部・馬乗捨川中上流部など）。下流部は、低水護岸率が高すぎる。全般に、水質汚濁が顕著。強い濁りが頻繁にみられた。中流部より下流側は水温が 33℃を超える高水温。

### 01 河口部～三原川・大日川下流部

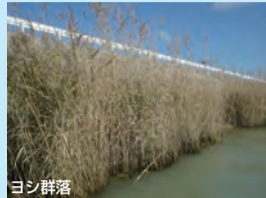
**保全** 汽水性・通し回遊性 \*1 の魚類・底生動物の希少種が分布する。

**課題** 低水護岸率が高く、水辺が単調。



### 05 三原川下流部

**保全** 河岸にヨシ原が広がる。三原川水系で確認された唯一のヨシ群落。汽水性の希少魚類が多い。



### 06 倭文川水系

**保全** 上流部では、希少な昆虫がみられた。

**課題** 瀬・淵の変化に乏しく河川形態が単調。上流部では、横断工作物が高い密度で分布する。水質汚濁が顕著（畜産排水が流入）。強い濁りが頻繁にみられた。底生動物の種数はきわめて少ない。

### 07 成相川中流部（養宜川合流付近）

**保全** 平瀬が多いなかにあって、淵が認められ、河川形態が比較的良好的。

### 08 三各支川の上流部（諭鶴羽山系）

**保全** 平地の中小河川としては、堰湛水域が比較的少ない。三原川中流部は、希少な貝類の生息地。天然アユの遡上が確認された。

**課題** 瀬・淵の変化に乏しく河川形態が単調。一部区間では、横断工作物が高い密度で分布する（成相川中流部・三原川中上流部など）。強い濁りが頻繁にみられた。下流部はほとんどの地点が 33℃を超える高水温。長田川上流部は、小河川としてはきわめて高水温。

### 04 大日川中流部

**課題** 井堰の取水により、夏季には広い範囲で濁水する。



夏季の濁水

\*1 「通し回遊性」…海と川を往復する生活史を送る性質

#### 全体区分

各調査結果を総合的に判断・整理したゾーニング

#### 魚類・底生動物の現地調査地点

● 調査地点

#### 横断工作物の確認位置（水面比高0.2m以上）

○ 魚道あり

○ 魚道なし

#### 回遊種の確認上限

▼▼ 近年の確認上限

▼▼ 過去の確認上限

#### 間取調査による名前のある淵の現状

● 無くなった

● 浅くなった / 狭くなった

● 変わらない

● 不明

#### 植生から見た流程区分

ツルヨシ・ネコヤナギ型

移行帯

オギ・ツルヨシ型

感潮域

#### 予察調査による河川環境の記録

課題が見つかった箇所

### 09 諭鶴羽山系の渓流域

**保全** 瀬・淵が比較的明瞭で、上流域らしい河川形態が認められる。水辺に自然林・二次林が接する場所が散在する。成相川上流部では、「名前のある淵」「長淵」「どんと」が残存している。



**課題** 成相川上流部の「名前のある淵」は矮小化している。上流域としては、底生動物の種数が少ない地点が多い。

